

2022年度入試【3年次編入学】

【日本語学・日本文学】

(法文学部・言語文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は一ページである。解答用紙は一枚。下書き用紙は一枚である。
- 3 指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 4 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 5 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 6 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

一 次の文章を読んで後の問い合わせに答えよ。

この尚侍の御はらからの高光の少将と聞えつるは、童名はまちをさ君と聞えしは、九条殿のいみじう思ひきこえたまへりし君、中宮の御事などもあはれに思されて、月の隈もなうすみのぼりてめでたきを見たまひて、

[△]かくばかり経がたく見ゆる世の中にうらやましくもすめる月かな
と詠みたまひて、その曉に出でたまひて、法師になりたまひにけり。帝もいみじうあはれがらせたまふ、世の人もいみじく惜しみきこえさす。多武峰といふ所に籠りて、いみじく行ひておはしけるに、三つ四つばかりの女君のいといとうつくしきぞおはしける、そぞとなほ思し捨てざりける。[△]多武峰までは恋しさは続きのぼりければ、母君の御もとに、それによりてぞ音づれきこえたまひける。かの児君も、屏風の絵の男を見ては、父とてぞ恋ひきこえたまひける。

(『菜花物語』による)

(注) 尚侍—村上天皇に寵愛された藤原瀧子

九条殿—高光の父親である藤原師輔

中宮の御事—高光の姉であり、村上天皇中宮であつた安子が亡くなつたこと

問一 傍線部Aについて、「かく」が指す内容を明確にしながら現代語訳せよ。

問二 傍線部Bの内容をわかりやすく説明せよ。

二 「自由異音」とは何か、日本語における具体例を挙げて説明せよ。

三 次の詩は、河野天鱗(松江の詩僧)一八〇七—一八九二の「納涼」である。読んで以下の問い合わせに答えよ。なお、返り点送り仮名は省いてある。

夜静長橋不起塵 乘涼來追月明新 垂楊風定湖如練 欄底氷輪倒照人

問一 この詩の形式を答えよ。

問二 押韻字をすべて指摘せよ。

問三 起句「夜静長橋不起塵」をひらがなだけで訓読みせよ。

問四 結句「欄底氷輪倒照人」はどのような風景か、説明せよ。

四 以下の問い合わせに答えよ。

問一 狹衣物語について、知るところを述べよ。

問二 人形淨瑠璃の成立について、知るところを述べよ。

問三 次の文学史的事項の中から一つを選び、知るところを述べよ。